



一本道

山田小学校通信No.12

令和8年7月14日

校長 吉田憲一

学校教育目標 「元気と挑戦で 成長を ～1日1ミリ～」

1 授業紹介⑤ 4年社会、「友だちの考えを取り入れる」ことで広がる学びの輪

7月8日、井福先生と4年生が、社会「自然災害から人々を守る」の研究授業を行いました。授業では、災害から私たちを守るために「誰が」「何を」してくれているのかを考えました。子どもたちは、プリントやホワイトボードなど、自分が書きやすい方法や学ぶ人数を選んで、熱心に意見を書き込んでいました。自ら進んで学ぶ姿勢がとても光っていました。学校での学びのすばらしさは、自分一人の意見だけでは終わらないところです。お互いに話し合い、本校が大切にしている「友だちの考えを取り入れる」ことで、自分の考えがどんどん更新していきます。仲間と温かく関わり合いながら、いきいきと学びを深める頼もしい4年生の姿に、確かな成長を感じました。



2 授業紹介⑥ あおぞら算数、先生の成長が子供の成長に直結！

7月9日、鶴田先生とあおぞら学級の子供たちが、算数の研究授業を行いました。3・4・6年生が一緒に学ぶ複式授業なので、とても難しいのですが、担任の先生は、支援員の先生と連携を図り、子供たちが自分のペースで集中して学べる環境やシステムを作り、授業を進めていました。担任の先生は今年から教壇に立つ新任の先生ですが、私が新任だった頃とは比べものにならないほど立派な授業をしており、教師として頼もしくもあり、成長をひしひしと感じ

ました。先生の成長は、子供の成長に直結します。4人の子供たちの学びに向かう姿がとても素敵だったので、終わってから黒板の前で集合写真を撮りました。



3 授業紹介⑦ 1年国語、理由まで言える姿に感動！

7月9日、澤村先生と1年生が、国語「おむすびころりん」の研究授業を行いました。先生は、45分の授業を「①帯タイム（語彙タイム）」「②挿絵の並びを考える」「③音読の工夫を考える」の3つの学習に分けて、テンポよく授業を進めていたので、子どもたちの集中力も高いままでした。一番感動したのが、次のように、「理由」を添えて堂々と話す1年生の姿でした。

- 「この絵を選んだのは、落としたとたん、おむすびが転がってしまったからです。」
- 「ネズミの踊りが面白いから、笑っているように読みたいです。」

この「理由」は、考えを深めます。「深い学び」につながる授業を展開している先生と1年生の子供たち、とても素敵で授業でした。

